

報告者：久木留 毅（文学部教授）

## ■ラフバラ大学研究拠点活動報告

No.13

10月2日(水)

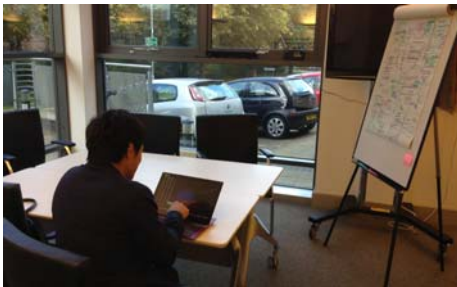
### ■ SDC Alan Buzza とミーティング

ラフバラ大学におけるスポーツ(パフォーマンスチャータ、British Universities & Colleges Sport(BUCS)等)について Alan からレクチャーを受けた。



10月6日(日)-8日(火)

### ■ MPA レスリング担当清水氏来訪、視察およびミーティング

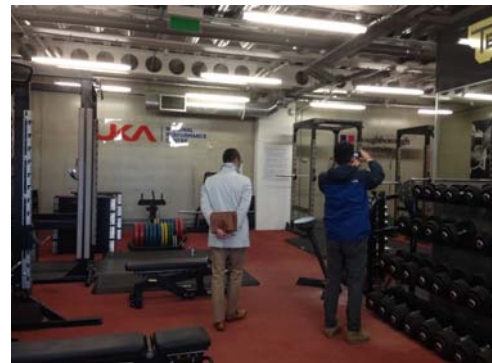


MPA レスリング事業に関して様々な情報を提供。ラフバラ大学内で実施されているタレント発掘事業および育成事業に関して情報交換。学内施設見学等を実施した。

10月10日(金)

### ■ MPA 事業北海道来訪

MPA 事業北海道チームとのミーティングおよび施設案内等を実施した。北海道におけるMPAの位置付けを念頭に入れ、ミーティングを実施した。外国に居るからできる現場サポートについて、改めて実感した。



10月14日(月)

### ■ Capitalising on the benefits of London2012

BRUNSWICK 主催の政界、経済界、およびスポーツ界との情報交換界へ参加。ロンドン在住の企業とのミーティングは、ネットワーク構築に大きな成果がある。

10月18日(金)-20日(日)

### ■ GB コンチネンタルカップ(英国情報主催)

英国柔道連盟より招待を受けて、スコットランド・グラスゴー (Scotland Institute of Sport:SI) で開催される大会を視察およびミーティングを実施した。来年夏、同会場においてコモンウェルスゲームズが開催、その上でも大きな視察となった。



会場内の SIS 視察。SIS ストレングスコーチ(元レスリング選手)キャサリンに館内を案内してもらい、制

報告者：久木留 毅（文学部教授）

度について情報収集を実施した。英国内のサポート活動について様々な情報を収集することは、自国（JISS 他）のサポートに関する改善点を明確にしていく上で良い機会となる。

10月23日(水)–24日(木)

- スポーツ指導者海外研修制度に関する調査(スペイン・バルセロナ市内)  
 廣山望氏(日本サッカー協会)、およびバルセロナ市トレーニングセンター(CAR)とのミーティングおよび施設見学を実施した(別途報告書あり)。



10月27日(日)–11月1日(金)

- Play the Games 参加(デンマーク・オーフス)  
 スポーツ組織関係者、研究者、ジャーナリスト、法律家等がそろって、現在のスポーツ界を取り巻く諸問題(八百長、ドーピング、暴力、ガバナンス等 Integrity of Sport)に関わる問題、メジャーイベント誘致に関する社会問題、メジャーイベントが社会にもたらす価値等)に関する情報収集を行った。具体的な解決策の提言は無いが、世界の動向に関する情報収集とネットワーク構築としては有益である。



10月29日(火)–30日(水)

- 国際レスリング連盟(FILA) Technical Committee 会議へ参加(スイス・ザベ)  
 Technical Committeeメンバーとして来年以降のルール改正会議に参加。FILAの内部事情把握とネットワーク構築を実施することができた。国際連盟内における意思決定を知る良い機会となった。最終日には、FILA事務局を訪問した。

-----  
 まとめ

英国に来て7か月が過ぎたが、ここまで大変充実した研修を実施している。ヨーロッパに居るからこそできる研修を行えている。スポーツにおける世界の動向を把握する上で、多くの国際会議、カンファレンス、国際大会、各国ハイパフォーマンス施設等を視察し、関係者とミーティングを行った。残り5か月についても同様に充実した研修を実施したいと考えている。

4月より今月末までのJSCラフバラ大学政策情報研究拠点の訪問者は約30名に至った。